

第10回 科学の甲子園ジュニア

全国大会結果報告

全国大会

福岡県代表チーム

(久留米大学附設中学校 広川町立広川中学校)

■主催

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)

■期日・会場

令和4年12月2日(金)～4日(日)

アクリエひめじ

(姫路市文化コンベンションセンター)

■出場チーム

各都道府県の代表47チーム(各チーム6人)

■日程

◆12月2日(金)

開会式、オリエンテーション

◆12月3日(土)

筆記競技、実技競技Ⅰ、実技競技Ⅱ

◆12月4日(日)

表彰式

開会式



今年度は、3年ぶりの実地開催となりました。

実技競技Ⅰ



【競技名】覗いてごらん
鮮やかに広がる光の世界
光の反射や屈折について
4つの実験を行い、光の経路
とできる像について調べまし
た。

実技競技Ⅱ



【競技名】
海峡運搬チャレンジ
規定の車に荷物を積んで
スタート台から車をスタート
させ、製作した橋を渡って向
こう岸に荷物を運搬する競
技に取り組みました。

まず、全国大会まで行くことができ、楽しかったです。僕は、どの科目においても、一人でするよりも話し合っで解く方が何倍も楽しいと、この大会で知ることができました。それと同時に、この大会ではいかにチームワークが大切かも体感しました。大会に少しでも興味を持ったら、別に科学が得意でなかったとしても協力すれば難問でも解けるので、是非、友達と参加してみてください。

【久留米大学附設中学校：柳 敬太さん】

今年度は3年ぶりの姫路での開催となりました。筆記・実技競技ともに、メンバーと話し合いながら、協力して行うことができました。上位入賞には程遠い結果となりましたが、メンバーだけでなく、他の都道府県の代表の方たちとも交流することができ、とても有意義な3日間を過ごせました。皆さんもぜひメンバーと協力して競技を楽しんでください。

【久留米大学附設中学校：谷 瞳さん(チームキャプテン)】

地区大会は電卓を持ってくるのを忘れ、数学の問題の検算ができず、ちゃんどあっているかが心配でした。また、県大会は筆記競技が数学だけで暗記物がなかったのが安心しましたが、実技が思っていた出題方法と違い、少し焦ってしまいました。全国大会は県大会の3倍ほど難しく、あせって力を出し切れませんでした。だから来年参加する人は落ち着いて取り組んでください。

【久留米大学附設中学校：坂本 皓さん】

福岡県代表チームから、 来年度挑戦する友達へのメッセージ

福岡県代表チーム

久留米大学附設中学校
広川町立広川中学校



坂本さん 谷さん 柳さん 原野さん 姫野さん 田中さん

全国大会に出場し、アクリエ姫路という舞台上で戦えたことをとても光栄に思います。友だちの母の誘いで気軽な気持ちで大会に参加したのですが、まさかここまで勝ち上がることが出来るとは夢にも思っていなかった。この経験からは挑戦しなければ、何も始まらないと思いました。『挑戦』の力は大きかったです。皆さんも結果を恐れずに『挑戦』して欲しいです。

【広川町立広川中学校：原野 月杜さん】

県大会では筆記競技で思うような成果が出せなかったのが、全国大会では頑張ろうと思っ全力を尽くしました。そして、多くのことを学んできました。また、地区予選や県大会とは違い、ものすごい緊張感とワクワク感がありました。それから全国の代表の人たちと接することで自分に足りないものを実感できました。皆さんにもぜひ、あの感覚を味わってほしいです。

【広川町立広川中学校：姫野 悦伊さん】

科学の甲子園ジュニアで最も重要になるのは、チームでの協力です。1人で解こうとするとわからない問題でも、みんなで取り組むことで解決することが出来ます。私たちが3人が協力することで、全国大会への切符を手に入れることができました。お互いを認め合う心を一番におき、大会を勝ち進んでください。全国大会では、新しい夢や科学への意欲がわいてきますよ!

【広川町立広川中学校：田中 陽斗さん】

科学の甲子園ジュニアとは？

「科学の甲子園ジュニア」は、全国の中学生が科学と実生活のつながりに気づき、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場を提供することを目的として平成25年に創設された大会です。科学の知識だけでなく、創意工夫、チームワーク、技能を競い合い、全国の仲間と科学を楽しむことができるのが魅力です。全国の予選参加者は、24,500人以上で、今年度は、全国大会に280人が参加しました。次年度も「科学の甲子園ジュニア」が開催されます。科学の楽しさ、ものづくりにチャレンジしてください。

地区大会、福岡県大会の結果

地区大会

■競技内容

- 理科・数学に関する筆記競技
チーム(3名)で90分間の筆記競技に取り組みました。

■日時

令和4年7月31日(日) 10:00~12:00

■会場と参加者

- 県内8会場で開催しました。
- 県内の149チーム(446名)の中学1・2年生が参加しました。
- ※ 各地区大会で優勝した8チームとそれを除く全体の上位4チームが県大会に出場しました。

<県大会出場チーム校>

- ・筑陽学園中学校
- ・宮若市立宮若東中学校
- ・久留米大学附設中学校(2チーム)
- ・広川町立広川中学校
- ・県立嘉穂高等学校附属中学校
- ・行橋市立泉中学校
- ・九州国際大学付属中学校(2チーム)
- ・福岡市立警固中学校
- ・福岡教育大学附属福岡中学校(2チーム)

福岡県大会

■競技内容

- 理科・数学に関する筆記競技及び実技競技(「スパイ大作戦」)に取り組みました。

■日時

令和4年9月4日(日)
10:30~15:30

■会場と参加者

- 福岡県中小企業振興センター(福岡市博多区吉塚本町9番11号)
- 地区大会を勝ち抜いた12チーム(36名)

<県大会結果>

【優勝】

久留米大学附設中学校

【準優勝】

広川町立広川中学校



※ 優勝と準優勝の久留米大学附設中学校・広川町立広川中学校が全国大会へ出場しました。

筆記競技



筆記競技では、等式を満たす自然数を探求する数学分野の問題と、プログラミングの考え方を活用して探求する情報分野の問題に取り組みました。

実技競技

実技競技では、LED信号装置を製作し、暗号伝達チャレンジを行い、暗号を伝える時間を競いました。



代表校事前説明会

全国大会に向けて事前公開競技問題などを共同で考える中で、チームワークを高めました。

■日時 令和4年11月13日(日) ■会場 福岡県中小企業振興センター



来年度の挑戦は!

令和5年度は、地区大会:7月30日(日) 県大会:9月3日(日) 全国大会:12月8日(金)~10日(日)を予定しています。

本件に関する問合せ 福岡県教育庁教育振興部義務教育課

☎ 092-643-3910